

電気系工学専攻 大学院入学ガイダンス 配信中の Q&A

Q. 指導教員選択フォームには何人まで教員の名前を書くことができますか？

A. 20名となっております。

Q. まだ TOEFL を受験していないのですが、TOEFL のスコアはいつまでに提出すれば間に合うでしょうか？

A. 入試案内書の 12 ページをご確認ください。 https://www.eeis.t.u-tokyo.ac.jp/education/pdf/2023/EEIS_nyushi2023_%E6%8F%90%E5%87%BA.pdf

Q. 志望教員へ事前に連絡した方がよいですか？

A. 修士課程に関しては必要はございません。博士課程に関しては、志望する指導教員の受入承諾書が必要となります。

Q. 今年は数学の試験はありませんか？

A. 今年の入試では、数学の試験はありません。詳細につきましては、入試案内書をご確認ください。

Q. 外国籍でも日本語で受験できますでしょうか？

A. はい。国籍に関係なく日本語で受験できます。

Q. 電気系工学には研究室訪問にかかる重点期間や見学ツアーのようなものがありますか？またそういった一度に研究室見学を複数行えるイベントのようなものは行われますか？

A. 駒場 II キャンパスの公開は予定されております。これ以外のイベントは予定されておられません。

Q. 専攻科目について日本語または英語で出題とありましたが、両方の言語で出題されるという意味でしょうか

A. 日本語の問題か英語の問題かのいずれかを選択することができます。

Q. ホームページ上のサンプル問題とは過去問題とは異なるのですか？

A. 差異の有無については回答できませんが、出題範囲や難易度は過去の入試問題と同じです。

Q. 接続テストを行う機械設定や接続する場所（用いる wi-fi 等）は、筆記試験、口頭試験とまったく同じでなければならないでしょうか。

A. 接続テストと筆記・口述試験で接続環境が異なるために生じるいかなる不利益も専攻では関知いたしません。

Q. 全研究科の受け入れ人数は何人までですか。

A. 下記リンクをご参照ください。

<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general-number>

Q. 指導希望教員調査表には 1 研究室につき 1 名の教員のみしか書いてはいけないのでしょうか？

A. 志望調査票には、教員ごとに記入できます。

Q. オンライン接続テストの時間を、10:00～、等のように細かく希望することは可能でしょうか。

A. 10 時～14 時の中でご自身の都合の良い時間に接続してください。

Q. 面接は全員受けますか、あるいは筆記試験合格者のみですか。

A. 口答試験に関しては、全受験者が受ける必要があります。

Q. 修士課程における口述試験の日程について希望日を選択することは可能ですよ

A. 希望日に関しては、選択することはできません。

Q. オンライン接続テストは 10:00～14:00 の間に 4 時間使って行うのですか

A. 10 時～14 時の間のどこかで接続していただく形となります。接続テストは、15 分程度で終わる予定です。

Q. 高専本科から専攻科に進学した場合、出身大学の卒業証明書および成績証明書は、本科分も含みますか？

A. はい。成績証明書は本科分も含め全て提出してください。

Q. 高専から大学に編入したのですが、編入先での認定単位は点数がついていないので、成績集計表でのカウントに含めないということでよろしいでしょうか。

A. 点数がついていない単位については成績集計表に含める必要はありません。ただし成績証明書には含めて提出していただくほか、フォームの備考欄にてその旨申告してください。

Q. オンライン接続テストに参加できない場合、別日に接続テストの機会を設けていただくことは可能でしょうか

A. 別日程による接続テストは行いません。

Q. オンライン接続テストの日どうしても予定がある場合は、代理を立てて接続状況確認を行うことは可能ですか。

A. 代理による接続は不可です。本人確認を行います。

Q. 試験を受けるとき耳栓をしてもよろしいですか？

A. 試験監から指示がある場合がありますので、耳栓は利用しないでください。

Q. 研究室についての説明会はございますでしょうか？もし無い場合は、個別にアポイントメントを取って見学させていただくことは可能でしょうか

A. 説明会はございません。個別にアポイントメントを取ってください。

Q. 只今、専門科目の出題が日本語と英語であるをご説明されましたが、問題文は英語のみではないのでしょうか。選択できるということですか。

A. 専門科目の問題文に関しては、日本語と英語のいずれかを選択することができます。

Q. 修士課程は全員オンライン試験ですか？

A. 今年の試験は、全てオンラインでの開催となります。